

# 市民活動情報

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズに的確に応えようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

## 特集

## フェアトレード

～新しい国際協力のかたち～

### 「フェアトレード」を知っていますか？

「フェアトレード（公正な貿易）」とは、市場原理で価格を決定する通常の貿易とは違い、生産者に対し生産物の公正な価格を保障し、生産者の社会的・経済的発展、生産者の労働環境・労働条件、生産地の環境保全を保障する方法で貿易を行うことです。「草の根貿易」「民際協力」などとも呼ばれています。

### なぜフェアトレードは生まれたの？

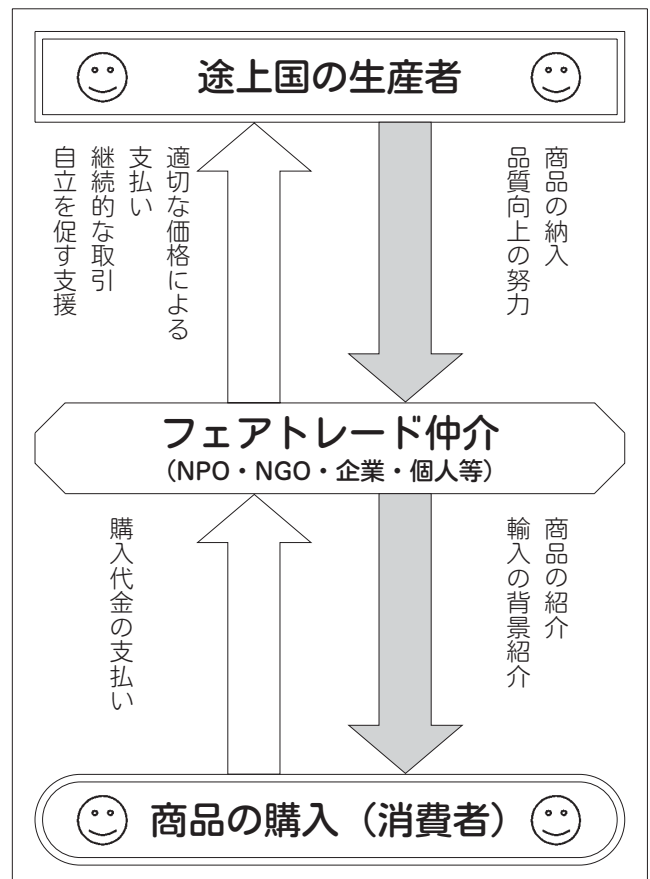
市場には様々な商品があふれています。その中でも、多くの安価な商品は「途上国」からの輸入品です。商品の単価を下げるため生産者への賃金は抑えられ、十分な環境対策も取られないままに商品が作られていることも少なくありません。今「途上国」では、作れば作るほど貧困が進み環境が破壊され、その結果、経済的自立が難しくなるという矛盾した状態が生じています。フェアトレードは、そのような取引の不公平な現状を一般市民の力で変えて行こうと、1960年代に途上国を支援しているヨーロッパのNGOが始めたといわれています。始めは草の根活動だったフェアトレードは、現在では何千もの小規模生産者グループや貿易会社、そして何千万の消費者を巻き込む貿易システムをつくり出すまでになりました。中南米・アフリカ・アジアの40カ国以上で500万人の生産者が、フェアトレードの恩恵を享受していると推定されています（注1）。

（注1：NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパンHPより）

### フェアトレードのしくみ

通常国際市場価格よりも高めに設定した価格で、仲買人を通さず継続的に農産物や手工芸品などを仕入れることで、途上国の生産者に正当な利益をもたらす経済的な自立を促す、というのがフェアトレードの基本的なかたちです。ここでは、フェアトレードを行っているNPOや、国際協力NGOなどが行っているフェアトレードを例としてみましょう。

【フェアトレードのしくみの一例】



取引方法としては、NPOやNGOが直接現地へ行き、生産者の現状を把握して契約する、現地のNPOやNGOに小規模農家・生産者を取りまとめてもらい契約する、などがあげられます。NPOやNGOが行っている主な自立支援の方法は、

- ・前払い金制度をもうける
  - ・現地生産者同士で組合を作ってもらい、支払いの一部を基金にする
  - ・品質向上の技術指導を行う
  - ・報酬の一部を環境整備、設備投資にあてる
- などがあり、団体によって支援の方法は様々です。

## フェアトレードの商品

主な商品は、コーヒー・バナナ・スパイスなどの農作物やその加工品、木彫りや布製品・アクセサリーなどの手工芸品、衣料品などです。農作物は各地の気候にあったもの、工芸品などは、生産者の文化的背景や自然素材、伝統的な技術を活かした製品が多く見られます。商品が売れると、生産者に自信と誇りが生まれます。そしてその自信は商品の質の向上へとつながります。実際、魅力的な商品が増加しているため、消費者が商品を購入する動機として「フェアトレード商品だから買う」だけでなく、「商品として魅力的だから買う」「おいしいから買う」という声が上がってきているようです。

## 人と環境への配慮

たとえば一般に販売されているコーヒーやバナナの多くは大規模農園（プランテーション）で栽培されていますが、農薬や化学肥料が大量に使用される事が多く、生産物への残留は少ないといわれているものの、直接農薬に触れる生産者の健康が害されたり環境への影響が懸念されています。フェアトレードの場合、無肥料・無農薬の昔ながらの栽培方法を奨励するなど、自然環境への負担の少なくなるような努力が行われています。大規模ではないため、生産量や時期が一定しない、割高になるなどのリスクはありますが、生産者にとっても消費者にとっても、安全というお金にかえられない利益となります。

また、経営者は大人を雇わず、より安い賃金で雇用できる子ども達に厳しい労働を課すという現状があります（児童の労働搾取）。労働者や生産者の所得が上がり、生活レベルが向上すると、子ども達は学校へ通うチャンスを得ることができるかもしれません。

## 日本では？ 北海道では？

フェアトレードへの取り組みは、近年世界で急激に広がっています。ヨーロッパでは、自治体がフェアトレードに取り組み事例も出てきました。日本でもフェアトレード商品の販売は確実に増加しているのですが、他の先進国に比べれば大変少ないのが現状です。企業の参加が増加傾向にあるようなので、今後は少し伸びるかもしれません。

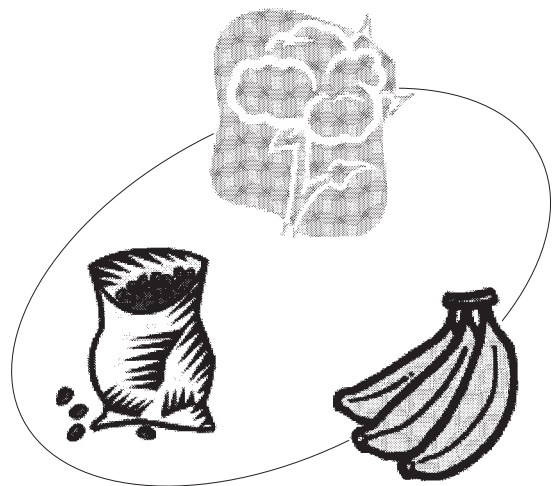
では、北海道はどうでしょう。北海道にも、フェアトレード商品を扱っているお店がいくつかあります。今年5月には、札幌のお店や環境・国際協力のNPO団体が集まって「さっぽろフェアトレードフェスタ2005」が開催されました。ワークショップを開いたり、フェアトレード商品を使った料理教室を行うなど、大変盛況だったようです。

## 参加したいと思ったら？

たとえば、

- ・フェアトレード製品を買う
- ・職場で飲んでいるコーヒーや紅茶をフェアトレード製品に替えてみる
- ・フェアトレード団体の会員になる

など、方法はいろいろあります。フェアトレード商品を扱っているショップの多くはインターネットでの販売を行っていますので、ネットを見ることが出来る環境にある方は是非検索してみてください。フェアトレードは今、一番身近な、始めやすい国際協力といえるでしょう。貧困に悩む途上国の生産者の自立を支援するため、また責任ある消費者として、フェアトレードに目を向けてみてはいかがでしょうか。



さらに詳しいことが知りたい方のために、フェアトレードに取り組んでいる団体を一部ご紹介します。

**\*グローバル・ヴィレッジ**  
 1991年の発足以来、環境保護と国際協力に取り組んでいます。通販カタログ「ピープル・ツリー」(350円)を発行、商品と商品が置いてある全国のショッパー一覧(北海道の店もあり)が掲載されています。東京、自由が丘と表参道に直営店があります。  
 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-1-16-3 F  
 TEL:03-5731-6671 FAX:03-5731-6677  
 (http://www.globalvillage.or.jp/)

**\*ネバリ・バザール**  
 1992年から、ネパールを中心としたアジア諸国のハンドクラフト製品や食品の企画・開発に取り組んでいます。神奈川県横浜市に直営店があります。通販カタログ「ベルダ」(350円)を発行、こちらにも商品が置いてある全国のショッパー一覧(北海道の店もあり)が掲載されています。  
 〒247-0007 神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷 4-10-15 マリーク 1 F  
 TEL:045-891-9939 FAX:045-893-8254  
 (http://www.nbazaro.org/)

**\*NPO法人シャプレーニール=市民による海外協力の会**  
 1972年設立。バングラデシュ、ネパールを中心に活動しています。通販カタログ「クラフト リンク南風」(無料)を発行しています。  
 〒169-8611 東京都新宿区西早稲田 2-3-1 早稲田奉仕団内  
 TEL:03-3202-7863 FAX:03-3202-4593  
 (http://www.shaplaneer.org/)

**\*FLO (フェアトレード・ラベリング・オーガニゼーション・インターナショナル)**  
 一般のマーケットにフェアトレード商品を広めるために、基準をつくり、それを消費者に知らせるラベル運動を展開しています。19カ国の国別ラベル認証団体により、構成され運営されています。日本には、「NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン」があります。(以下、「ジャパン」の住所)  
 〒130-0022 東京都墨田区江東橋 5-3-1  
 TEL:03-3634-7872 FAX:03-3634-7808  
 (http://www.fairtrade-jp.org/)

**\*アジア太平洋資料センター (PARC)**  
 1973年設立。南と北の人々が対等・平等に生きることのできるオルタナティブな(今のようでない、もうひとつの)社会をつくることをめざし、世界からの情報の収集や発信、研究、自由学校を中心とした教育、さまざまな講演会やワークショップ、政府や国際機関への政策提言活動など多様な市民活動を行っています。支援先の東ティモールのコーヒーをフェアトレードしています。  
 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-7-11 東洋ビル 2 階  
 TEL:03-5209-3455 FAX:03-5209-3453  
 (http://www.parc-jp.org/)

※通販カタログ「ピープル・ツリー」、「ベルダ」、「クラフト リンク南風」は、当センターで閲覧することが出来ます。

**おすすめ BOOKS**

**『地球買いモノ白書』**

(どこからどこへ研究会著 コモンズ)

チキン、マグロ、カップ麺、缶コーヒー、マガジン、スポーツシューズ、ケータイ、ダイヤモンドの指輪、マンションという私たちに身近な9つのモノが、どのような原材料を使い、どこで、どのように生産されているのかを綿密に調べた市民グループの調査報告です。日本の物質的豊かさの背景が鮮明に描き出され、責任ある消費者として私たちが取るべき行為とは何かを考えさせてくれます。イラストがふんだんに使われていて読みやすくなっています。

定価：本体1300円+税



**『子どもたちのアフリカ〈忘れられた大陸〉に希望の架け橋を』**

(石 弘之著 岩波書店)

貧困、犯罪、エイズなどに苦しむアフリカ諸国の現在の状況、特に子どもたちの置かれている状況を数多くのデータを用いて伝える一方、課題解決のために活動している様々なNGOの取り組みを紹介しながら、今、私たちに何ができるのかを示唆しています。アフリカ各国の紹介、関連URLなど、資料も充実しています。

定価：本体1700円+税



郵便はがき

50円切手  
 をお貼り  
 ください

0 6 0 0 0 0 3

札幌市中央区北3条西7丁目  
 道庁別館西棟1階

**北海道立市民活動促進センター 行**

お名前 \_\_\_\_\_

団体名 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

TEL. \_\_\_\_\_ FAX. \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

(お寄せいただいた情報は情報誌「市民活動情報」の他ホームページなどで随時紹介します)

\*「市民活動情報」は奇数月に発行します。

\* 次回の発行は11月下旬ですので、情報のある方は10月中旬までにお寄せください。



# センターインフォメーション

## 【事業案内】

### ●市民活動入門講座●

コミュニティづくりやボランティア活動、NPOなどの市民活動に関心のある方々を対象に、地域の問題点を探り、市民活動を展開していくための知識や手法を学ぶとともに、市民活動に対する参加意欲の向上やネットワークの形成を図ることを目的に開催します。  
テ ー マ：「市民活動ってなんだろう！」

開催日及び場所：

- ・10月18日(火) 稚内市(稚内市立図書館)
- ・10月21日(金) 倶知安町(後志支庁)
- ・11月15日(火) 新冠町(レ・コード館)
- ・11月19日(土) 士別市 予定

内 容：講義、事例発表、ディスカッション

定 員：30名

受 講 料：無料

### ●市民活動団体スタッフ養成講座 NPO・NGOスタッフトレーニングin帯広●

開 催 日：10月15日(土)～12月10日(土) 全15日間

場 所：坂本ビル 5階Bホール(帯広市)

内 容：NPO・NGOの概要、調査、プランニング、実務等

定 員：30名

受 講 料：無料

申込締切：10月6日(木)

共催団体：NPO法人帯広NPO28サポートセンター

### ●市民活動全道フォーラム●

道民の市民活動への理解と交流を図るため、市民活動団体などの関係者や行政、企業関係者が一堂に会し、活動内容や団体運営の実務など、市民活動に関するさまざまなテーマでの分科会やパネルディスカッションなどを主体とする全道規模のフォーラムを開催します。

日 時：10月2日(日)10:00～16:00

場 所：かでの2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)

対 象 者：市民活動関係者、市民活動に興味のある方

内 容：講 演：「NPOと行政とのより深い協働をめざして—全国主要自治体の協働環境調査を通じて」

講 師：川北 秀人氏 (IIHOE代表)

分科会：9分科会

市民活動見本市：NPOパネル展・相談コーナー

参 加 費：無料

### ●市民活動地域フォーラム●

地域的な課題等をテーマとするパネルディスカッションやワークショップなど、地域住民の市民活動への理解を深めることを目的に地域密着型フォーラムを開催します。

テ ー マ：「市民活動の充実・発展と明日への展望を拓く」

日 時：10月25日(火)10:00～16:00

場 所：釧路市生涯学習センター「まなぼっと」

内 容：講 演：「まちづくりの実践と市民活動」

講 師：大山 公男氏

((財)北海道地域活動振興協会地域活動アドバイザー)

実践事例発表、研究協議ほか

定 員：80名

参 加 費：無料

共催団体：釧路地域ふれあい振興委員会

### ●市民活動スキルアップ講座●

市民活動団体のスタッフなどを対象に、市民活動を進める上で必要な運営の実務について、実践に生かせる知識や手法を具体的に学び、スタッフの能力向上を図ることを目的に開催します。

テ ー マ：「ファシリテーター養成講座初級編」

開 催 日：10月22日(土)～23日(日)の2日間

場 所：かでの2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)

内 容：講義、ワークショップ

講 師：世古 一穂氏

(NPO法人NPO研修・情報センター代表理事)

定 員：30名

受 講 料：無料(資料代別途)

その他の講座、フォーラムについては、開催日、会場が決定しだい、順次当センターホームページ等でお知らせ致します。

## 情報送付ハガキ

掲載希望の情報 ・タイトル	
種別(○で囲む)	・イベント ・勉強会 ・その他( )
日 時	月 日( ) 午前・午後 : ~ :
簡単な内容	
場 所	
参 加 要 件	参加料( 円)
そ の 他	

※FAX・Eメールでも情報を受け付けています。

●ご意見・今後取り上げてほしいテーマ等をお書きください。

---



---



---



---



---



---

## 編集後記

言葉だけでも皆さんに知っていただきたいと思い、今回フェアトレードを特集してみました。イギリスでは、普通のスーパーマーケットにもフェアトレード商品が並んでいるのだそうです。日本でも早くフェアトレードが身近なものになって、いろんな商品を選択できるようになるといいですね。(A)